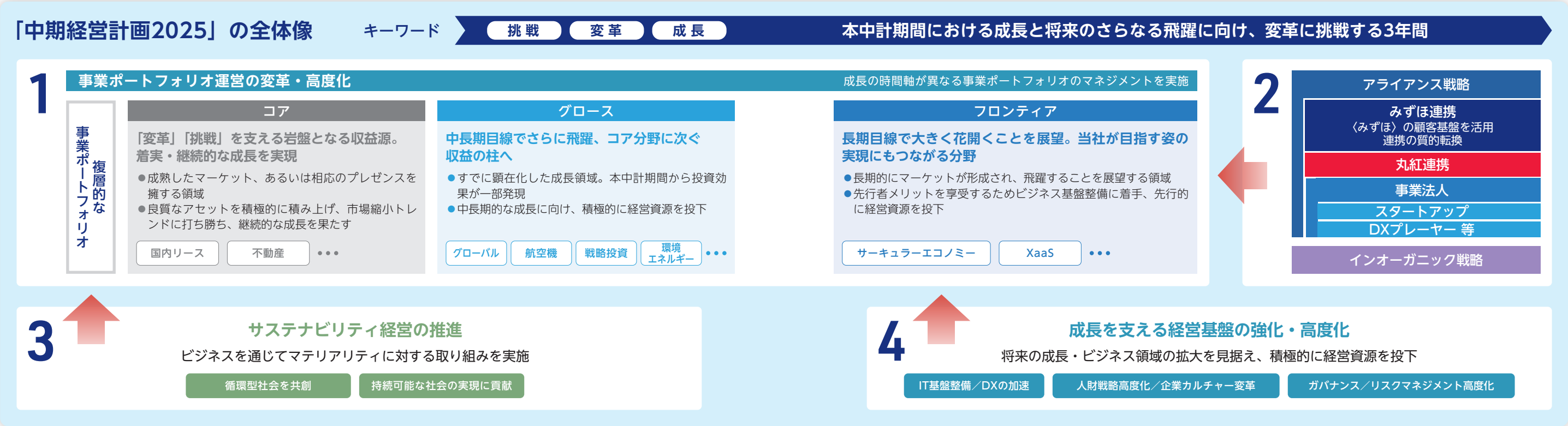


中期経営計画2025 進捗状況について

「中期経営計画2025」では、「挑戦」「変革」「成長」をキーワードに定めて4つの戦略を推進しています。金融の枠に捉われることなく、お客さまの事業課題や社会課題解決に向けて多様なソリューションを提供するマルチソリューション・プラットフォームを目指していきます。



1 事業ポートフォリオ運営の変革・高度化

「コア」分野

・〈みずほ〉連携を軸とした営業資産の積み上げと収益基盤の拡充

・不動産事業ではメザニンローンや大規模ブリッジ案件の成約、物流施設・オフィスビルの取得・開発が進展

「グロース」分野

・インド子会社（Mizuho RA Leasing）の経営統合を完了、グローバルの成長に寄与

・発電事業を起点としたサプライチェーンにおけるサービス提供領域の拡充を推進

「フロンティア」分野

・合併会社メトレック㈱の設立、エムエル・ITADソリューション㈱の設立等によるサーキュラーエコノミーの推進

⇒ p.07

3 サステナビリティ経営の推進

・再生可能エネルギー発電容量の拡大（708MW、2025年度目標1GWに向けた進捗）

・ESG投資指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」構成銘柄への選定

・厚生労働省による「えるぼし認定」の取得

・サステナブルファイナンス枠組み活用による資金調達力の強化

⇒ p.43

2 アライアンス／インオーガニック戦略

アライアンス

・〈みずほ〉との連携深化に加え、丸紅との連携強化による国内外ビジネスパイプラインの増加

インオーガニック戦略

・3か年想定投資額1,500億円に対し、累計投資額約1,000億円

・米国Aircastleへの追加出資、Mizuho RA Leasingの追加出資、ジェコスの株式取得、メトレック設立、エムエル・ITADソリューション設立、日鉄興和不動産の株式取得による事業・バリューチェーンの拡大

⇒ p.25

4 成長を支える経営基盤の強化・高度化

・「最適な人財ポートフォリオの構築」「個の強さの最大限の発揮」を目指し、人財戦略を高度化

・新本社移転を契機としたカルチャー変革に向けた社内横断イベントの実施

・グループウェア刷新や次期システム導入によるビジネス拡大に向けた基盤整備

・DANSHARIプロジェクト等、デジタル活用による生産性向上

・新規ビジネス創出・各本部のバリューチェーン強化に向けたインオーガニック体制の強化

・ブランディング・マーケティング活用、採用力強化を目的としたコーポレートサイトの刷新

⇒ p.57

